

1. 基本理念

自分らしい楽しさを想像できる「あたま」
さまざまなことにチャレンジする「からだ」
温かくしなやかで優しい「こころ」
を持つ子ども達が育つ環境構成に全力で取り組み
子ども達の全てを共感的に見守ります

2. 保育方針

恵まれた保育環境の中で一人ひとりの個性を大切にし、その子ならではの興味・関心を育み、健やかに生き生きと園生活を楽しむことを保障しながら子どもを育てます。また、保護者や地域と密に関わりながら、豊かな心を持つ子ども達の成長を見守る関係づくりを目指します。

3.

(1) 保育・教育内容

園内外研修において全職員が「育児担当制」についての学びを深めました。子どもにとって安全な避難所・安心の基地であるべき保育者として、一人ひとりの子どもに丁寧に寄り、大切に育てるための保育に取り組みました。自園らしさを追求しながらも課題となる点に関しては話し合いを設け、その都度全体共有を行った上で実践に活かしました。

また、外部講師の指導による英語教室、体操教室や総合絵本を使った幼児教育に関しては、子どもの興味や関心のもと、子どもの主体性を大切にした成長段階に適した教育を提供することに努めました。

(2) 施設設備

正門・裏門の門扉開閉がスムーズでなかったことをきっかけに正門は門扉・電子錠、裏門は門扉のみリニューアルしました。また、今年度3月にAEDの耐用期間を迎えたため、機器を新調、園庭に関しては遊具滑り台のリニューアル、室内に関しては園児用椅子を新調し、利用者の安全対策を心掛けました。

県の補助を受け、ウイルス、微細粒子を除去する空気清浄機（エアドッグ）を導入し、園内の感染症対策にも努めました。

(3) 安全管理

夏場の熱中症対策で「WBGT モニター」を屋外に取り付け情報に注視し、状況に応じて園外活動内容の変更を行いました。また、同様に花粉や黄砂などの日々の情報にも留意しながら、安全な保育を心掛けました。

感染症の流行する時期も多いため、園内のどのクラスで何の感染症が流行しているのかが一目でわかるように感染症掲示板を作成し、玄関先への掲示を行い保護者への情報提供に努めました。

駐車場利用にあたっての注意喚起を保護者だけでなく、各クラスで子ども達にも直接指導を行い、登降園時の安全管理を徹底しました。また、月に一度の火災・地震の避難訓練、消火訓練、また年に一度の不審者訓練を行いました。条件を変えながら、いかなる場合にも対応できるよう園全体で取り組みました。

(4) 子育て支援の推進

今年度も引き続き地域回覧用の「えのみ新聞」の発行を行いました。園内の取り組みやご参加いただいた際の様子などを掲載することで、身近に感じていただき、来園へと繋げていけるように努めました。見学に来られた際に申込をいただく場合もあり、R7 年度の入園へも繋ぐことができました。

(5) 保護者連携

年末に子どもの園での様子をお伝えするために保護者との面談を行いました。送迎時の時間だけでは出来ないようなお話もゆっくりする事が出来ました。また年度末には、更新された重要事項及び進級に向けてのクラス説明を行いました。進級に不安を感じている保護者へのアドバイスをを行うことができ、有意義な時間となりました。

催事ごとのアンケート調査を行い、保護者の率直な感想をいただくようにしました。提供内容の改善に向けて、いただいたご意見の内容によっては、次回開催時の検討材料とさせていただきますようにしました。

保護者会との連携で、ファミリーフェスタを開催しました。今年は全クラス同時に盛大に開催することができ、参加者からの評価も好評でした。

(6) 資質向上

日々変化し続ける保育情勢および保育内容を学ぶ機会を大切にしました。園内研修では年間を通して学ぶ担当制を軸にわらべうたや手作りおもちゃ（製作）を積極的に学び、すぐに実践に取り入れることで保育者としての知識や技術を深めることが出来ました。

また、職員の中には保育の専門性を高めるための研修を積極的に受講する姿も見受けられました。

保育を行う上で、園内共通の事柄に関しては職員間での対応に差が出ないようにマニュアル化を行いました。マニュアルは話し合いの中で変更が必要と判断した場合は都度

更新を行いました。

虐待防止等への取組みとして、園内研修を通して、虐待の兆候を見抜く方法や適切な言葉かけ、対応に関する知識を学びました。また、日頃の保育の中での気づきを大切にし、互いの発した言葉の意図やその時の状況を確認しながら、互いに意見や指導を行うようにしました。関連報道等があった場合は、詳細や事例に関して職員周知を行うようにしました。

(7) 幼保小連携

東町小学校との連携のために開催している保育参観に、今年度は東ブロック幼保小中学校特別支援教育推進事業ブロック会に参加されている学校・園にも参加を呼びかけて開催しました。6名(5校1園)のご参加をいただき、当園で行っている保育・教育をみていただいた後、情報交換を行いました。園を訪れることがはじめての先生方に園内の子ども達の様子をご覧いただき園の教育活動へも関心を持っていただいたことは今後の連携を深めることに繋がると思いました。

(8) 地域交流・貢献

地域の夏祭りや敬老会のお祝いへの参加を通し、地域の方々と卒園児との交流を深めることができました。また、前年度に引き続き職員一同、月に1度園周辺清掃活動の実施、子ども達はボランティアとして地域の公園の清掃作業や散歩コースの清掃活動を実施し、日頃お世話になっている地域に対して貢献活動を行いました。

4. 次年度に向けての課題

- ・ 幼保小連携のためのカリキュラム作成に向けた取り組みの強化
- ・ 担当制における環境構成
- ・ 職員人材確保からの育成から定着まで
- ・ 保護者や職員が利用しやすい ICT への移行